

三木市剣道連盟指導者研修会 剣道教士八段長納憲二先生をお招きして

成人指導部が担当する恒例の剣道指導者研修会が、9月2日(日)、10時から加佐コミュニティスポーツセンターで行われ、一般会員22人、高校生5人計27人が参加した。

講師は、昨年に引き続き長納憲二教士八段(56歳)。現在滝川第二高校剣道部監督で、日本国内はもとより、フランス剣道連盟への派遣指導に14回、スペインやハンガリーの剣道連盟にも指導にまねかれるなど、正しい剣道普及に尽力されている。



10時15分に始まった研修会だが、まず剣道講話として資料を示して剣道のけいこの基本についてわかりやすく解説をされた(別項資料一部掲載)。その後、午前中に、日本剣道形一本目から七本目までの実技指導をされた。昼食休憩をはさんで午後からの日本剣道形の小太刀三本の実技

指導後、昇段審査を受ける高校生、一般会員の模擬審査を実施。長野先生からの確かなアドバイスを受けた。



集まった少年剣道教室の指導者、また、昇段を目指す会員や高校生にとって貴重な学びの日となった。以下、資料を抜粋して紹介する。

石原忠美範士九段(岡山)

剣道は目に見える剣体と、見えない心気の本二本柱である。

●肉眼と心眼(見ると観る)↓意識と無意識
意識すると攻めは効かない(有効打突にならない)。よって、意識から無意識になること。

●攻め勝つこと↓目で見て打ったのでは遅い←相手の隙を打つ。(いま)の(い)と(ま)の中間点を打つこと。(い)では早すぎる。(ま)では遅すぎる。

●集中力で感動させる剣道とは

- 1 切れ目のない先の気迫
- 2 無心の攻め
- 3 崩れない剣道
- 4 反則のない剣道

●勦(生まれつき持っている勦)↓練度(稽古の豊富さ)・試合の経験度・プラズ完成度)

- 剣道の5要素
- | | |
|---------------|------------------|
| 1 集中力(瞬発) ★攻め | 2 持久力(忍耐) ★ため・我慢 |
| 3 調整力 ★臨機応変 | 4 判断力 ★目付け |
| 5 決断力 ★捨て身 | |

※ 最高の八段位は完成度の中に風格・品位があり、人間業ではなく神業が出ないといけない。

※ 目に見えない心気は無敵である。その工夫をすることが大切である。

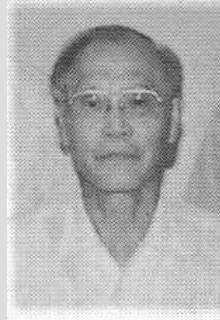
●打つ前に攻め勝つ(気の剣) 剣の効果

- 1 無心の攻めが効く
- 2 観見の目付けが効く
- 3 心の裏が見える
- 4 洞察力が効く
- 5 二度と同じところを打たれない
- 6 平常心になる
- 7 読みと反射の効果が出る
- 8 相手に騙されない剣道になる

●攻めると同時に攻めが効く

肉眼で見たら相手の強いところを見ると恐ろしくなったり、迷ったりと意識が働くからダメになる。裏に弱いところを隠している。表面と裏面が見える。(観・勦) 打ちの初動を殺す攻めが大切である。攻めて打つ先と相手が攻めてくる打ちの初動を殺す。(後略) (当日資料抜粋)

宮脇義昌 元三木市剣道連盟会長ご逝去



去る10月9日(火)、三木市剣道連盟第二代会長(昭和50年〜平成元年)宮脇義昌氏がお亡くなりになりました。享年93歳でした。謹んで御悔やみ申し上げます。

宮脇氏は、大正13年、三木市別所町石野生まれ。旧兵庫県立小野中学校で剣道部に所属。昭和26年に創立された三木市剣道連盟の初代会長岡田逸治氏をはじめ市内剣道愛好家とともに、熱心に稽古に励み、昭和49年からは第二代会長として連盟の事業拡大と発展に大いに貢献されました。

会長退任後は三木市剣道連盟名誉会長として後進を育成されるところにも、三木市選挙管理委員として永年務められました。人格温厚で包容力のある宮脇氏は誰からも信頼される素晴らしい会長でした。

昭和50年〜昭和62年兵庫県剣道連盟評議員、同理事を歴任。剣道教士五段。平成14年全日本剣道連盟50周年記念感謝状授与。平成15年三木市剣道連盟50周年記念感謝状授与。

第53回三木市中学校新人体育大会 剣道の部開かれる

平成30年9月29日(土)三木中学校体育館で第53回三木市中学校新人体育大会剣道の部が行われた。

三木中学校男子4名・自由が丘中学校男子2名女子2名の計4名・緑が丘中学校男子



名女子1名の計2名・志染中学校男子1名女子1名の計2名で、男子8名女子4名の計12名の選手が集まり、熱戦が繰りひろげられた。男子個人戦ではA、Bに分

かれて予選リーグを行い、Aリーグは、金井(志染中)が2勝1分け、勝ち点7で1位に、高橋(自由が丘中)が1勝2分け、勝ち点5で2位になり決勝トーナメントに進出した。Bリーグは、東(三木中)が2勝1分け、得本数5の勝ち点7で1位に、有延(緑が丘中)が2勝1分け、得本数4の勝ち点7で2位、安保(自由が丘中)が1分け、勝ち点1で3位になり決勝トーナメントに進出した。

女子個人戦は決勝リーグ戦を行い、栗田(緑が丘中)と照井(志染中)が共に2勝1分け、得本数4の勝ち点7で並び、3分1本勝負の1・2位の順位決定戦を行った。双方譲らず延長戦に突入し、最後は照井の面で勝負が決まった。3位は、1分けの勝ち点1で阪野(自由が丘中)、濱野(自由が丘中)だった。

男子個人決勝トーナメントは、1回戦で高橋と安保が対戦し、高橋が小手で勝ち東播大会出場を決めた。準決勝第1試合は、今年の三木市新人大会の決勝、今年の夏の三木市総体の決勝で戦った金井と有延、過去2回はいずれも金

井が勝っているが、今回も緊迫したい勝負だった。最初に金井が面を取るが、有延が面を取り返す。そのまま延長となるが、最後に金井が面を取って勝った。

準決勝第2試合は高橋と東で、東が面を取って勝った。決勝は金井と東、互角の勝負で延長となるが金井の面が決まり、3連覇を果たした。

団体戦は、男子が三木中学校のみの登録で他校はなかった。ので東播大会出場が決まった。

閉会式の審判長講評では小椋審判長から大会の印象に残った試合として、男子予選リーグの東对有延、決勝トーナメントの金井对有延の試合を挙げられ、審判長だけでなく観戦しているすべての人が引きつけられるような試合だった。そんな試合ができるようになった。そんな試合がほしいと述べられた。女子の試合については、打ち切ることの大切さを述べられた。閉会式後、審判をしてくださった三木市剣道連盟の先生方が元立って合同稽古を行い、先生方から丁寧な指導を受けることができた。

(報告 波田幸信)

剣道六段

昇段者の言葉

(平成三十年度)

剣道六段を拝受して

小林 統一

相変わらず緊張する。十五年ぶりの昇段審査。藤田敏彦先生の車に同乗させていただき、快適に会場に到着。ここ十五年、仕事の関係で、年に一、二度市民大会、別所公の合同稽古で子供相手にする程度。神澤正輝先生に会うたび六段を受けなさいと言われ続けていました。

昨年十二月に定年退職、一月から本格的に稽古を再開することに。三木中央少年剣道教室の寒稽古から、寒さに体が動かない、これは無理をしないで子供相手の稽古に徹しよう。四月の審査会に向けてスケジュールを立て、一月は子供としかしない、二月から森下哲次先生、西岡伸泰先生、戸田明儀先生、藤田敏彦先生、小紫達矢先生方と稽古。それに併せて形稽古を始めるが、全くダメで、各先生方に指導していただいた。審査会前日に紫雲館に行き、神澤正輝先生に「我慢しろ」と

このことは西岡伸泰先生にも何回も言われていました。小椋治朗先生、田畑修先生には構え、着装について指導を受けました。

審査当日、緊張しながら待っている、他の受験者が係の人に「蹲踞(そんきよ)ができないのですが、いいですか。」と確認すると「大丈夫です。」と返事。これを聞いて、私も膝が悪く蹲踞がしにくかったので、気持ち

が楽になりました。最初の立ち合い、心掛けた事は、ただ一つ我慢して攻めて、攻めて、攻め続ける。ここぞと面に跳び、相手の面を割った手ごたえは十分。後、何を打ったのかほとんど記憶にありません。平成三十年四月二十九日、京都での六段合格。各先生方、中央の子供たち、本当にありがとうございます。



皆様に感謝

小紫 達矢

平成三十年八月二十六日福岡市民体育館にて実施された剣道六段審査会にて合格することができました。

昨年八月から受審が可能になり、今回は三回目の受審でした。

「打って勝つな。勝って打て」という言葉があります。不合格であった一回目・二回目の立会いの動画を見ると、有効打突はどのお相手に対しても複数あったように見えました。ただ「打って勝つて」いるだけに見えました。今回の受審では、先生方の教えやアドバイスを取り入れながら、「勝って打つ」立会いを心がけました。

幸いなことに、打つ前の攻めが効いたのか一人目のお相手に対しては出小手で、二人目のお相手に対しては初太刀の面で会心の打突をすることができ、合格に繋がったと思います。

私が六段を頂戴することができたことは、何度も稽古をいただき教えをくださった先生方、稽古で元気をくれた子どもたち、審査に臨む道具について親

身になって相談に乗ってください。泉屋さん、審査に付き合ってくれて福岡や京都に来てくれた妻など皆様のお陰です。皆様に感謝



向に査審段七てし

全国青年大会出場決定

来る11月9日～11日に東京武道館で開催される第67回全国青年大会剣道の部に、兵庫県を代表して我が三木市剣道連盟から松本克基監督以下男子5名が出場する。9日の開会式、10日と11日の個人戦と団体戦に臨む。

我が連盟の青年大会出場は、昭和60年の第34回大会以来33年ぶり4回目。60年には、男子団体3位、女子4位と大いに気を吐いた。選手は以下のとおり。

- 監督 松本克基(錬士六段)
- 先鋒 低田 優 (四段)
- 次鋒 板垣 諒 (四段)
- 中堅 川人 優亮 (三段)
- 副将 山口直輝 (五段)
- 大将 西本英一郎 (五段)